

# あゆみ

青梅市立河辺小学校 学校便り  
8. 9月号 No.667 令和5年8月28日  
青梅市立河辺小学校 校長 関谷 望

## 人とのかかわりの中で ～御岳移動教室、2学期の各行事～

校長 関谷 望

夏休みで静まり返っていた校舎に、子供たちの元気な声が帰ってきました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の扱いが5類となったことにより、4年ぶりに実施された催しも多く、「通常の夏」が戻ってきたように感じました。子供たちも保護者の皆様も、楽しんだりリフレッシュしたりできた有意義な夏休みとなったのではないかと思います。

反面、「通常」ではなかったのは猛暑です。「観測史上最多」「連続〇日」と報道され続ける「猛暑日」に、「一番好きな季節は？」の問いに迷わず「夏！」と答える私も、「秋が早く来てほしいなあ」と思うほどです。長期予報ではもうしばらく暑い日が続く可能性があるようです。皆様、どうぞご自愛ください。

7月19日の終業式のあと、7月20日～21日の1泊2日で、5年生は「御岳移動教室」を実施しました。（令和2年度に市内全校で6年生の日光移動教室が中止になった際、代替行事として実施された御岳山での宿泊学習が大変有意義であったことから、青梅市教育委員会の補助事業となりました。河辺小では昨年度より実施しています。）

直前まで猛暑日が続いており、暑さが心配されましたが、移動教室期間中はちょうど暑さが和らぎ、御岳山でのオリエンテーリング、武蔵御岳神社での国宝の見学、体育館でのレクリエーション、アメリカキャンプ村での飯盒炊飯、吉川英治記念館や玉堂美術館見学など、全ての行程をまずまずのコンディションで、無事に行うことができました。

初めての宿泊行事に戸惑ったり、不安になったりする様子の子も見受けられましたが、友達や先生と多くの時間を共有し、助け合ったり時にぶつかったりしながら、多くのことを学んでいました。また、子供たちにとって「地元」となる「青梅」を感じたり、訪問先の方などお世話になった方々とふれあったりしたことを通して、自然のすばらしさや人の生き方・考え方など、移動教室ならではの有意義な学びを積み重ねることができました。

5年生は、学ぶ意識をもって、一つ一つの活動を楽しみながら、生き生きと取り組んでいました。わずか2日間ですが一人一人の成長を感じる有意義な2日間となりました。5年生保護者の皆様には、移動教室実施にあたりご理解と多大なご協力を賜り、誠にありがとうございました。

2学期は、9月30日に開催予定の運動会を始め、校外学習や講師をお招きしての活動など、友達や他者とのかかわりなどを通して学ぶ体験活動を多く計画しています。子供たちが成長し社会で活躍していく中で、「人とのかかわり」「他者を理解し尊重する」ことは不可欠です。人と人がかかわれば、時にはトラブルとなることもありますが、柔軟な心をもつ小学生の時期に、どう解決したり乗り越えたりしていくかを体感的に学ぶことは、力強く成長していくための大きな力となります。本校ではコロナ禍でも「人とのかかわりの中で学ぶ」ことを重視してきましたが、今後も日常の学習もふくめ、「自他尊重の心」や「人とかわる力」の伸長する活動を大切にしていきます。よろしく願いいたします。